

島根県の経済動向

統 第 2 3 2 号
令和 8 年 7 月 1 日

令和 8 年 1 ~ 3 月分

島根県政策企画局統計調査課

— 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 持ち直しの動きがみられる —

生産活動は持ち直しに向けた動きがみられる。雇用情勢は改善の兆しがみられる。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は一部に弱い動きがみられる。

※矢印の向きは、前期分からの動き（↑上向き、→同水準、↓下向き）を示しています。

生産活動	↑	～持ち直しに向けた動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は104.3となり、前期比は9.2%上昇し、前年比は7.3%と2期ぶりに上回った。 生産活動は、持ち直しに向けた動きがみられる。
雇用情勢	↑	～改善の兆し～	雇用面は有効求人倍率は1.39倍で前期を0.05ポイント上回った。新規求人数は2.5%と12期ぶりに前年を上回った。所得面は、現金給与総額は2.3%と2期ぶりに前年を上回った。きまって支給する給与は2.3%と5期ぶりに前年を上回った。 雇用情勢は、改善の兆しがみられる。
個人消費	↑	～持ち直しの動き～	商業6業態販売額は2.0%と5期連続で前年を上回った。新車登録台数は▲3.6%と3期連続で前年を下回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	→	～一部に弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は▲53.1%と7期連続で前年を下回った。公共工事請負金額は▲26.9%と2期ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数は3.3%と3期連続で前年を上回った。 投資動向は、一部に弱い動きがみられる。
企業倒産		～倒産件数 11件～	企業倒産件数は11件。負債総額は9億円。
金融情勢		～貸出金残高は 対前年4.0%増～	銀行預金残高は、3期連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は、13期連続で前年を上回った。
物 価		～対前年1.6%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は111.3となり、前年比1.6%の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （令和8年6月30日公表）		CI先行指数（3か月後方移動平均値）は105.6となり、2期ぶりの上昇となった。 CI一致指数（3か月後方移動平均値）は128.8となり、4期ぶりの上昇となった。
	毎月勤労統計調査 （令和8年5月26日公表）		実質賃金（現金給与総額）は0.9%と5期ぶりに前年を上回った。 実質賃金（きまって支給する給与）は1.0%と5期ぶりに前年を上回った。
	法人企業景気予測調査結果 （令和8年3月12日公表）		財務省松江財務事務所が公表した現状（令和8年1～3月期）の景況判断BSIは、▲14.4%ポイントと「下降」超に転じている。 令和7年度の設備投資計画は、前年度比111.3%の増加見込みとなっている。（製造業159.4%、非製造業6.0%）

経 済 指 標		前年同期比（%） ただし*は除く。				
		R7				R8
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	97.3	96.6	97.2	95.5	104.3
	* "（前期比）	▲ 0.4	▲ 0.7	0.6	▲ 1.7	9.2
	"（前年同期比）	2.9	0.6	0.8	▲ 2.4	7.3
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.39	1.38	1.38	1.34	1.39
	新規求人数	▲ 6.5	▲ 4.9	▲ 5.8	▲ 12.1	2.5
	常用労働者数	1.2	1.3	1.2	1.3	1.4
	現金給与総額（名目）	▲ 0.6	▲ 1.8	1.1	▲ 4.1	2.3
	きまって支給する給与（名目）	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.6	2.3
	所定外労働時間（製造業）	5.6	▲ 2.3	2.2	5.8	6.5
個人消費	商業6業態販売額	1.6	2.6	1.7	1.9	2.0
	乗用車新車登録台数	18.5	7.7	▲ 8.4	▲ 7.9	▲ 3.6
	出雲空港利用者数	13.4	9.4	10.8	6.9	6.3
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 62.2	▲ 58.5	▲ 27.9	▲ 3.8	▲ 53.1
	公共工事請負金額	14.7	▲ 12.9	▲ 7.1	13.4	▲ 26.9
	新設住宅着工戸数	▲ 16.2	▲ 43.3	76.6	3.3	3.3
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	8	8	8	10	11
	* 負債総額（百万円）	1,201	1,465	547	1,111	900
金融情勢	銀行預金残高（期末）	1.3	▲ 0.3	0.2	0.3	1.8
	銀行貸出金残高（期末）	2.6	2.8	2.6	3.3	4.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	109.5	110.1	110.6	111.5	111.3
その他	* 景気動向指数（CI先行指数・3か月後方移動平均値）	103.6	97.2	99.0	98.1	105.6
	* 景気動向指数（CI一致指数・3か月後方移動平均値）	127.5	124.0	123.9	121.0	128.8
	実質賃金（現金給与総額）	▲ 4.7	▲ 4.5	▲ 1.2	▲ 6.7	0.9
	実質賃金（きまって支給する給与）	▲ 5.1	▲ 3.7	▲ 2.5	▲ 3.3	1.0

経済動向に関する他機関の公表資料

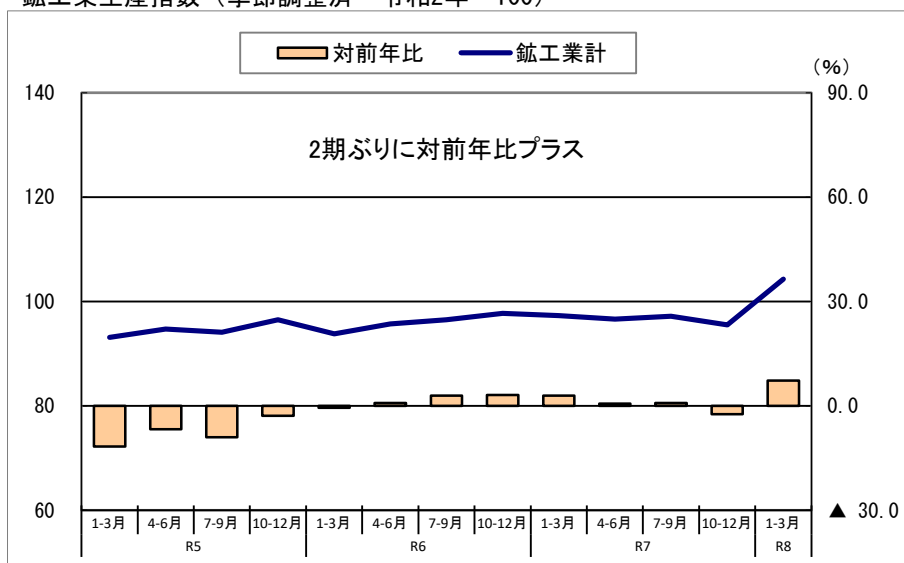
(各機関の最新の公表資料より抜粋)

<p>全 国</p>	<p>「月例経済報告（内閣府）」 令和8年5月26日</p> <p>景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である。 ・ 設備投資は、持ち直している。 ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 生産は、横ばいとなっている。 ・ 企業収益は、改善の動きがみられるが、中東情勢の影響を注視する必要がある。 ・ 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・ 消費者物価は、緩やかに上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。</p>
<p>中 国 地 方</p>	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 令和8年6月19日</p> <p>緩やかな持ち直しの動きがみられる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向 …緩やかな持ち直しの動きがみられる 2. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動きがみられる 3. 雇 用 …有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少 4. 景 況 感 …現状、先行きともに前月に比べ上昇 5. 貿 易 …輸出、輸入ともに前年同月比で増加 6. 建設動向 …公共工事は前年同月比で増加、住宅建設は前年同月比で減少 7. 企業倒産 …件数、負債総額とも前年同月比で増加 8. 設備投資 …2026年度計画は前年度を上回る見込み
<p>山 陰 地 方</p>	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2026年6月5日</p> <p>山陰の景気は、持ち直している。最終需要をみると、個人消費は、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに増加している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては横ばい圏内で推移している。この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、堅調に推移している。 ・ 住宅投資は、弱めの動きとなっている。 ・ 設備投資は、緩やかに増加している。 ・ 公共投資は、横ばい圏内で推移している。 ・ 生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては横ばい圏内で推移している。 ・ 雇用・所得環境をみると、持ち直している。 <p>「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」 2026年6月5日</p> <p>不安定な海外情勢の影響などから生産活動は弱い動きが続いているものの、投資活動は全体として概ね堅調に推移し、個人消費も上向くなど、総じて緩やかな持ち直し基調となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資 …堅調な動き ・ 設備投資 …好調な動き ・ 住宅建設 …弱めの動き ・ 個人消費 …上向きの動き ・ 生 産 …弱い動き ・ 雇用情勢 …弱い動き ・ 企業の業況判断 …足元改善、先行き悪化見通し
<p>島 根 県</p>	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 令和8年4月22日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、緩やかに持ち直している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 持ち直している ・ 生産活動 一進一退の状況にある ・ 雇用情勢 横ばいの状況にある ・ 公共事業 前年度を下回る ・ 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み ・ 企業収益 7年度は減益見込み

〔四半期値の動き〕

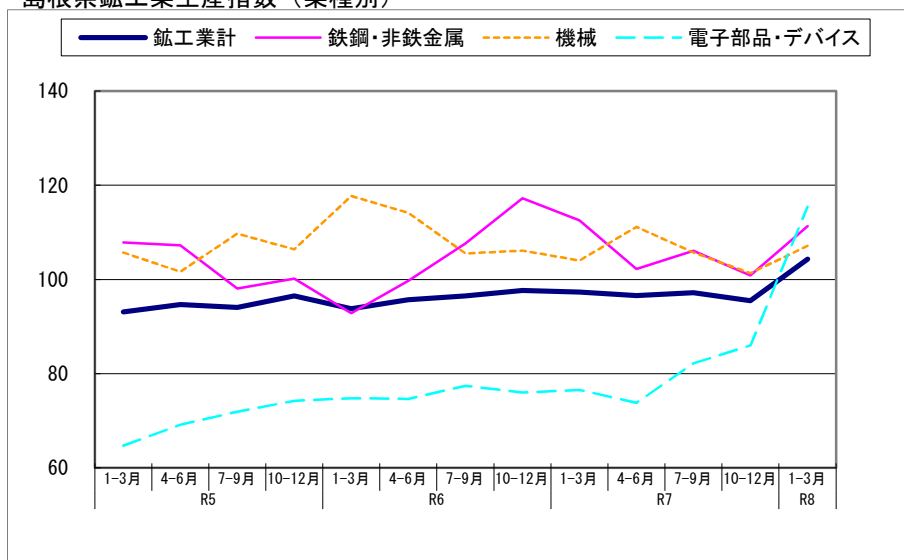
【生産動向】 ～持ち直しに向けた動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 令和2年=100）



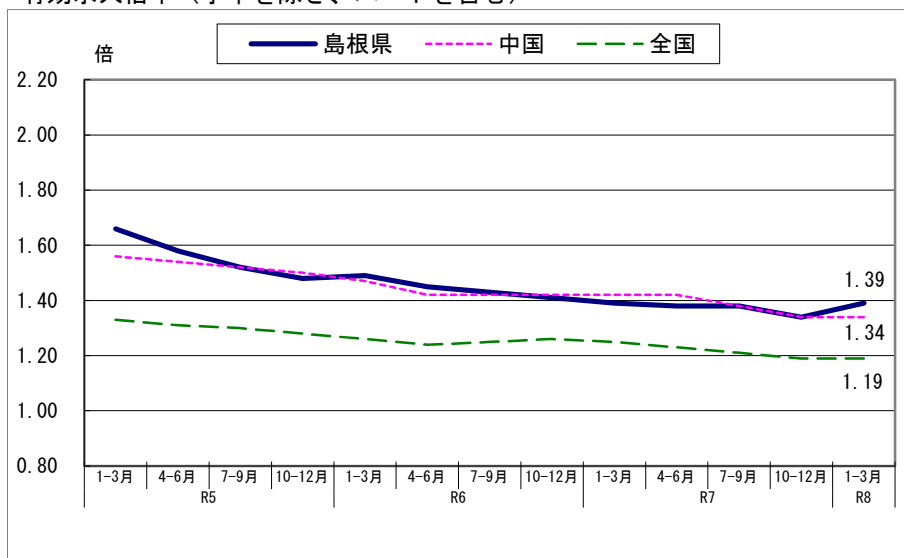
（注）対前年比は、原指数による

島根県鉱工業生産指数（業種別）



【雇用情勢】 ～改善の兆し～

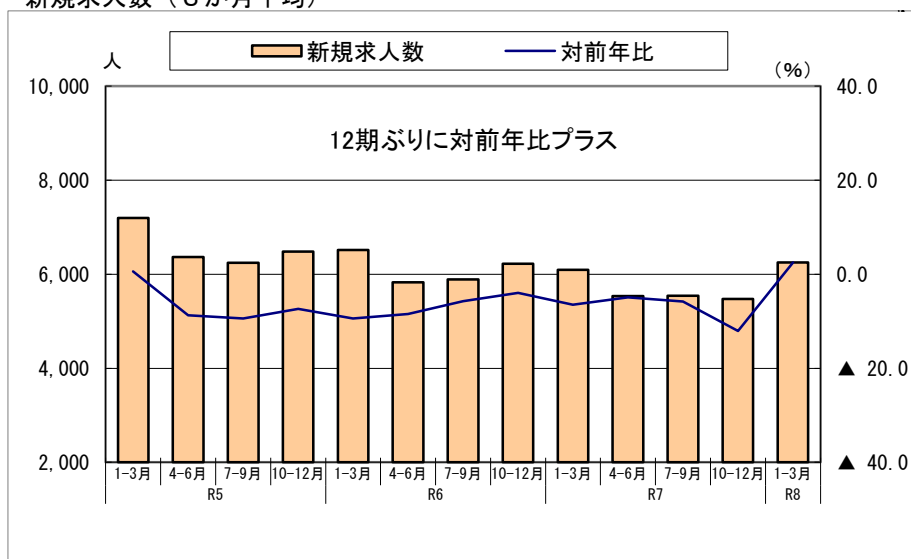
有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



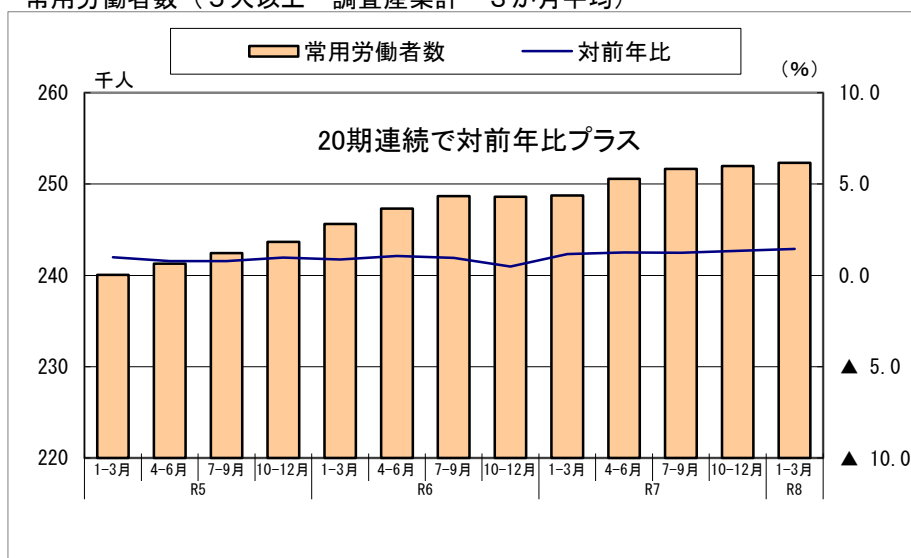
〔四半期値の動き〕

【雇用情勢】 ～改善の兆し～

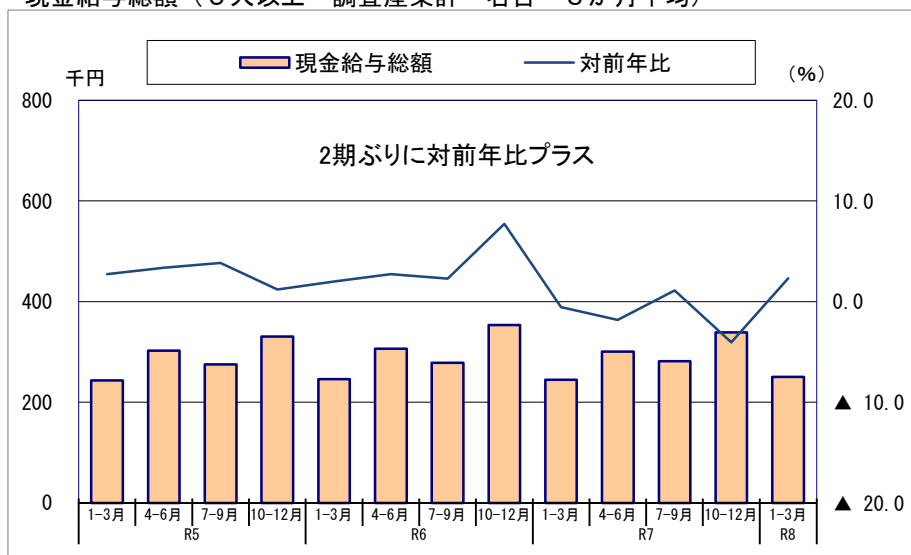
新規求人数（3か月平均）



常用労働者数（5人以上・調査産業計・3か月平均）



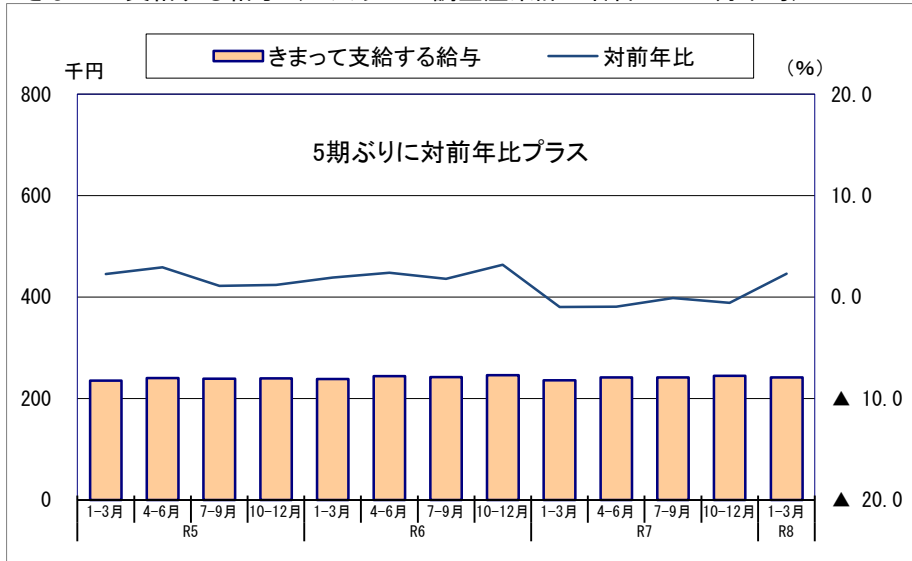
現金給与総額（5人以上・調査産業計・名目・3か月平均）



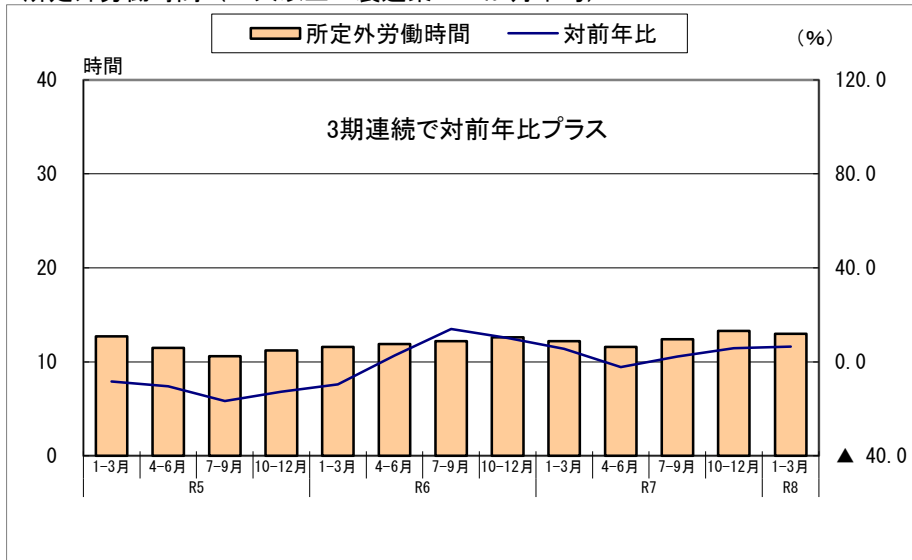
〔四半期値の動き〕

【雇用情勢】 ～改善の兆し～

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計・名目・3か月平均）

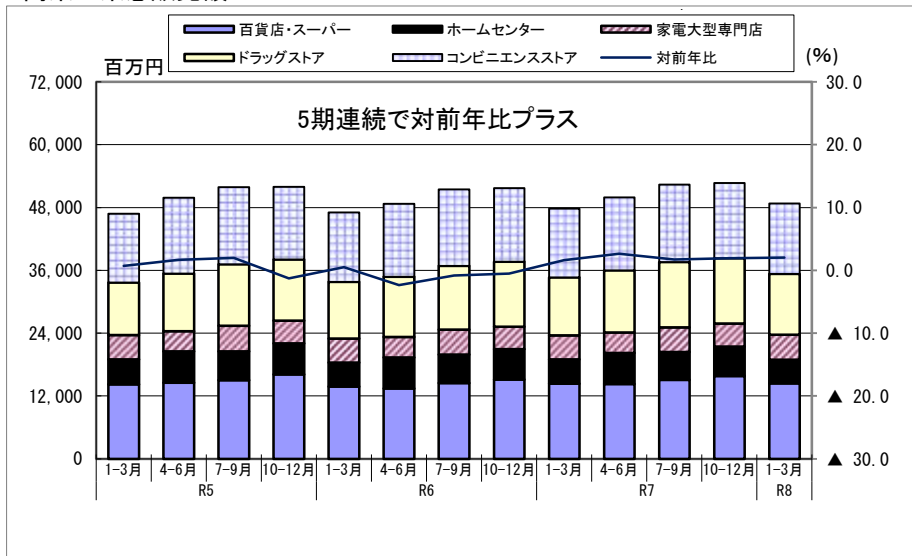


所定外労働時間（5人以上・製造業・3か月平均）



【個人消費】 ～持ち直しの動き～

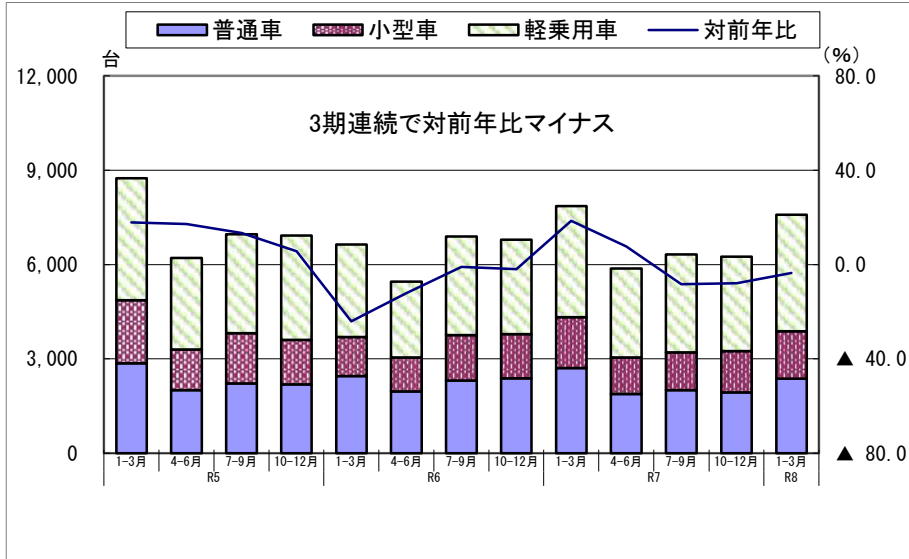
商業6業態販売額



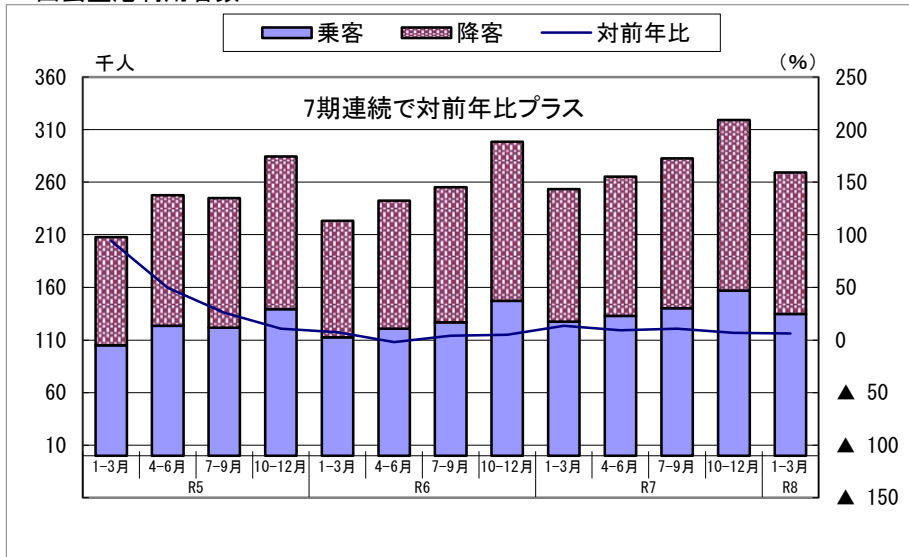
〔四半期値の動き〕

【 個人消費 】 ～持ち直しの動き～

乗用車新車登録台数

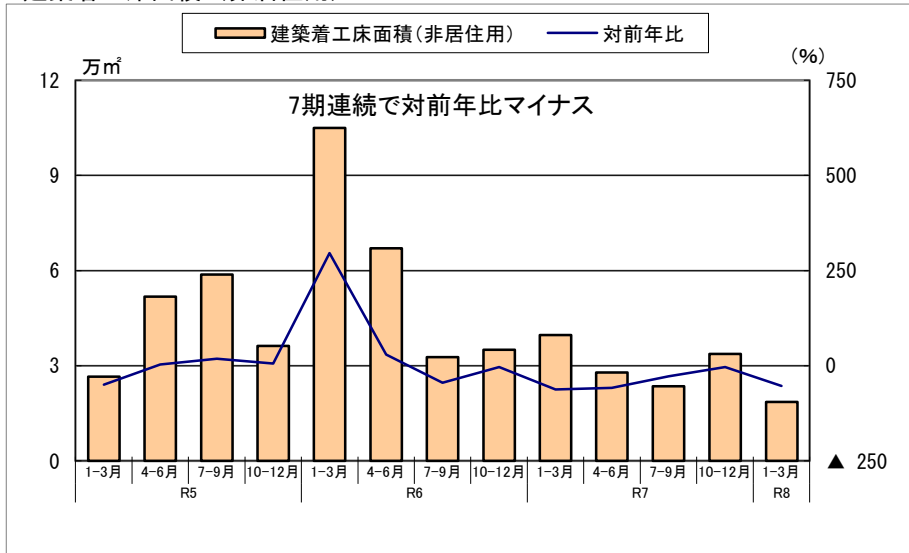


出雲空港利用者数



【 投資動向 】 ～一部に弱い動き～

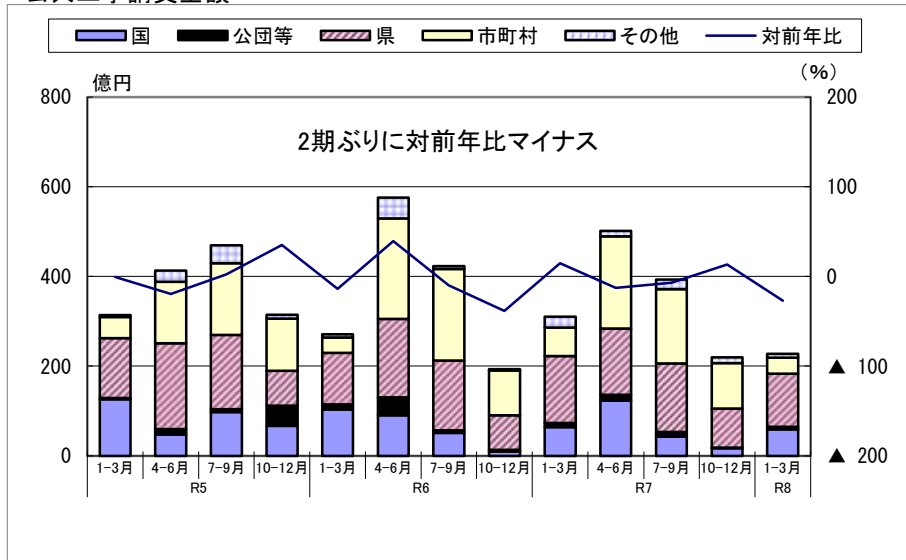
建築着工床面積 (非居住用)



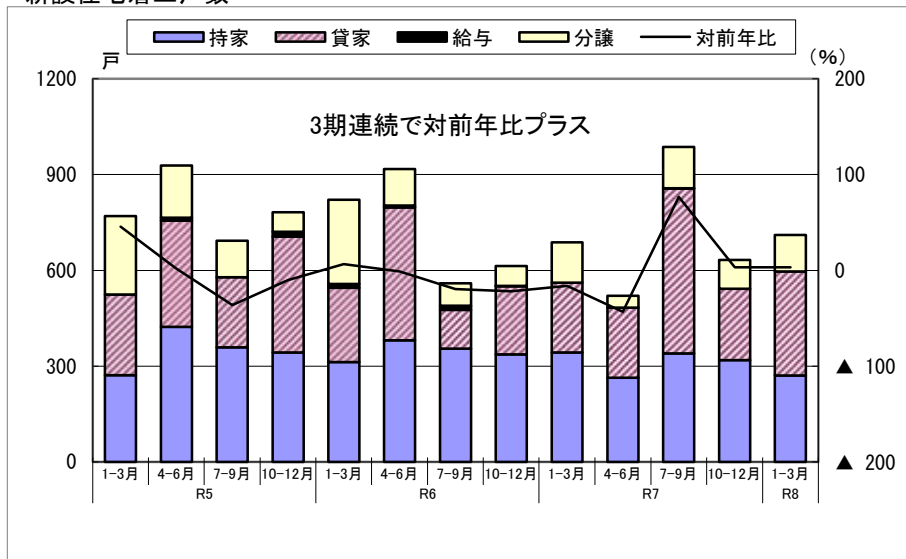
〔四半期値の動き〕

【投資動向】 ～一部に弱い動き～

公共工事請負金額

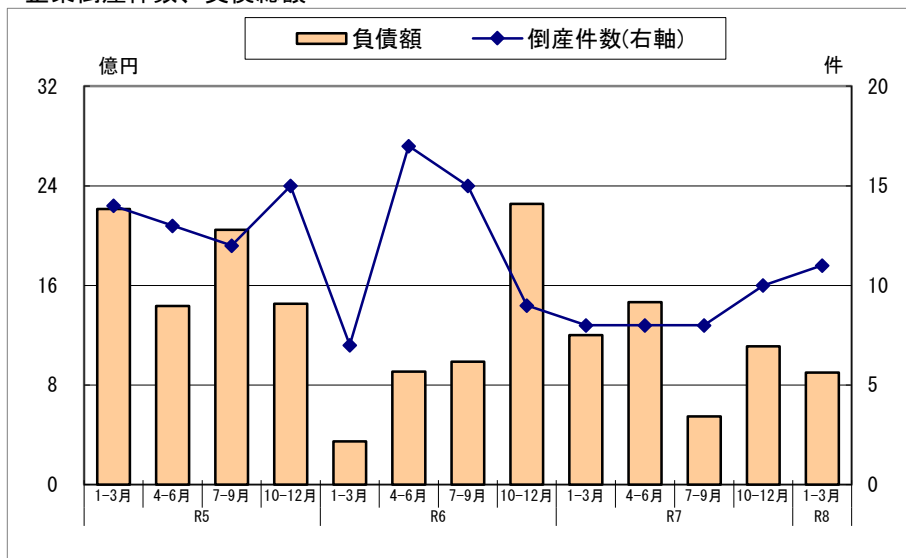


新設住宅着工戸数



【企業倒産】 ～倒産件数11件～

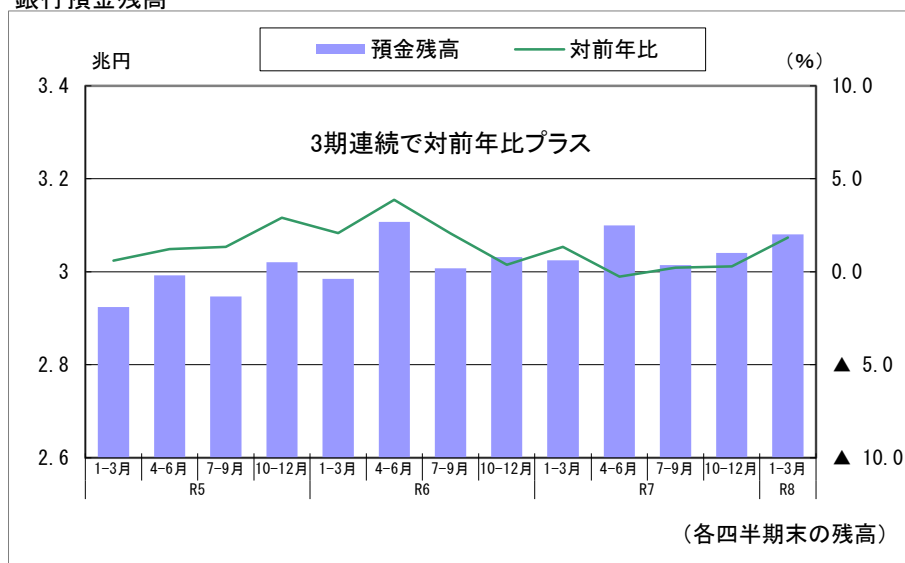
企業倒産件数、負債総額



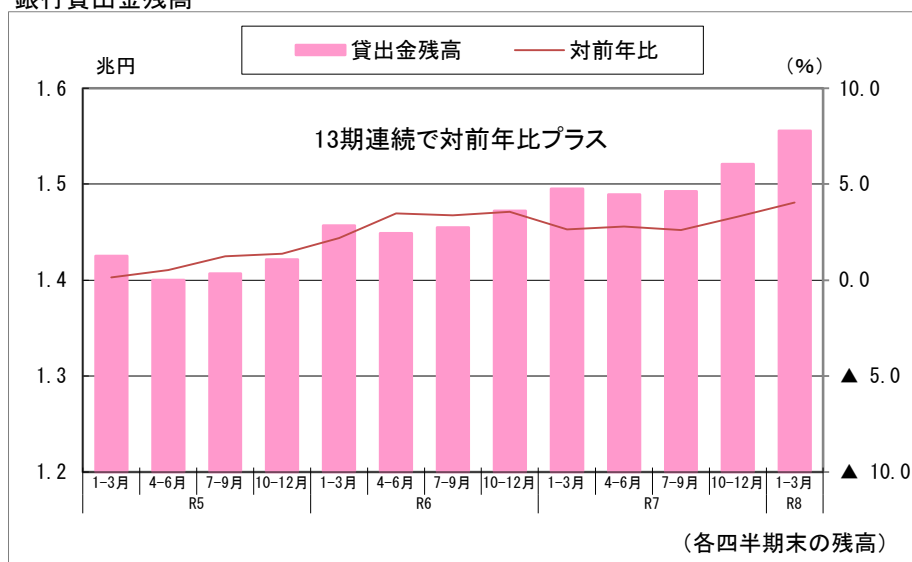
〔四半期値の動き〕

【金融情勢】 ～貸出金残高は対前年4.0%増～

銀行預金残高



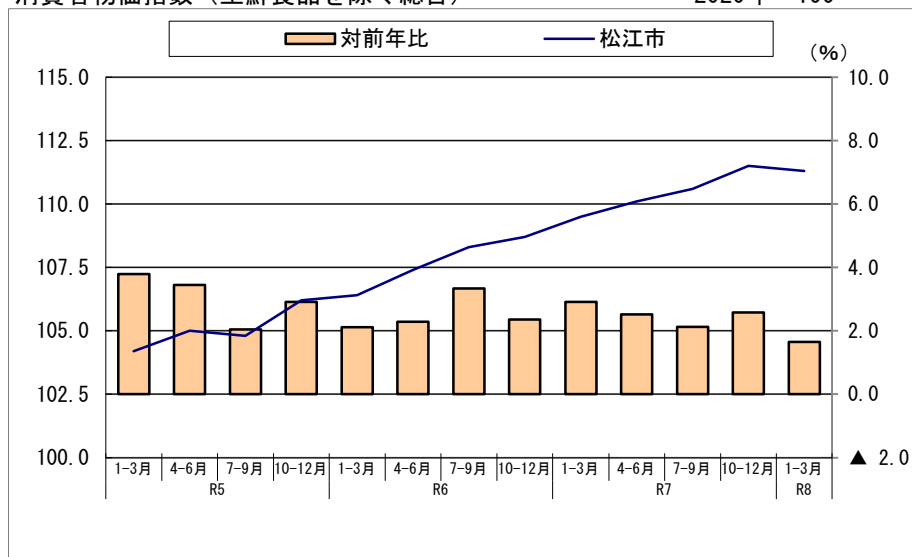
銀行貸出金残高



【物 価】 ～対前年1.6%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

2020年=100

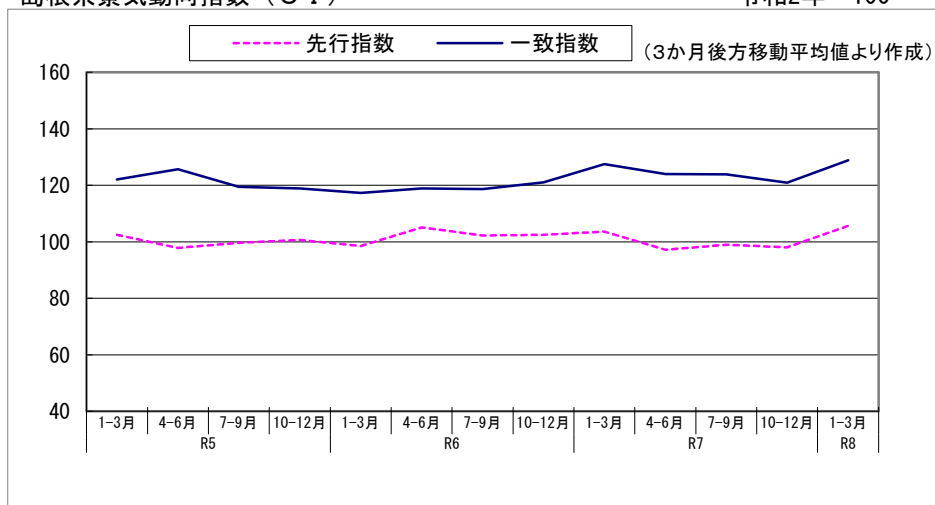


〔四半期値の動き〕

【 その他（参考） 】

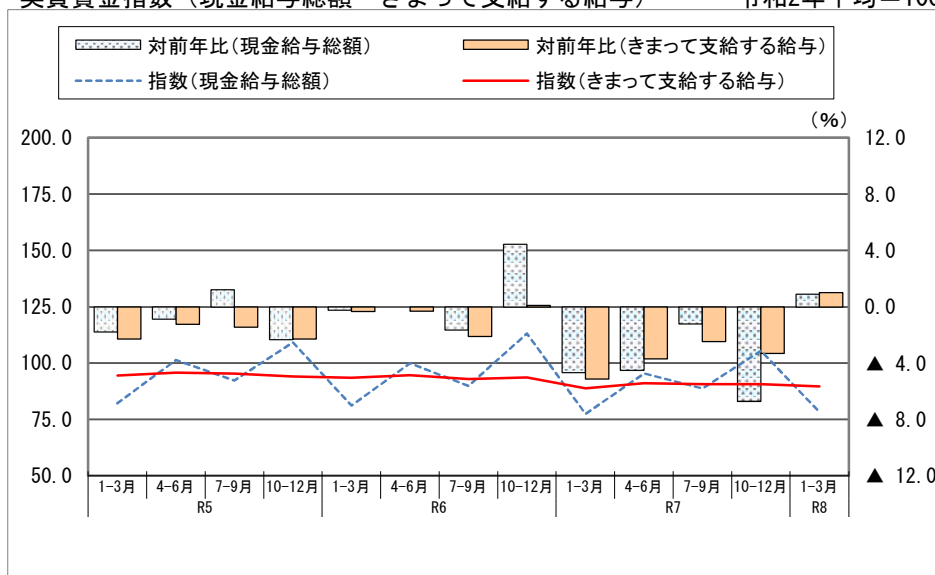
島根県景気動向指数（C I）

令和2年=100



実質賃金指数（現金給与総額・きまって支給する給与）

令和2年平均=100



法人企業景気予測調査結果（令和8年3月12日 財務省松江財務事務所）

令和8年1～3月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区分	7年10～12月 前回調査	8年1～3月 今回調査	8年4～6月 見通し	8年7～9月 見通し
全産業	12.4	(0.0) ▲ 14.4	(3.8) 5.8	10.6
製造業	▲ 2.6	(2.6) ▲ 26.3	(2.6) 0.0	0.0
非製造業	21.2	(▲1.5) ▲ 7.6	(4.5) 9.1	16.7
大企業	0.0	(0.0) ▲ 16.7	(0.0) 0.0	0.0
中堅企業	18.2	(▲3.0) ▲ 6.1	(▲6.1) 6.1	9.1
中小企業	10.6	(1.5) ▲ 18.5	(9.1) 6.2	12.3

※ () 書きは、前回（7年10～12月期）調査時の見通し